Port of Yokosuka 2018 & 2019

横須賀港 便覧

横須賀市港湾部

1 横須賀港の沿革

横須賀港は、慶応元年（1865年）、徳川幕府の勘定奉行であった小栗上野介忠順とフランス人技師フランソワ・レオンス・ヴェルニーが、横須賀村に製鉄所（造船所）の建設を開始したのがその起源である。その後、明治17年（1884年）に横須賀鎮守府が設置されて以来、軍港として発展を遂げてきた。

終戦後、昭和25年（1950年）の「旧軍港市転換法」の施行によって、横須賀市は「平和産業港湾都市」として新たな歩みを始め、横須賀港は、昭和23年（1948年）1月1日に貿易港の指定を受け、次いで昭和26年（1951年）1月19日には港湾法の規定により「重要港湾」に、また同年9月22日には「準特定重要港湾」（国内産業開発上特に重要な港湾）に指定され、その後、昭和28年（1953年）4月1日に横須賀市が港湾管理者となった。

横須賀港の港湾整備は、昭和42年（1967年）9月に策定した横須賀港港湾計画に基づき整備を進め、その後、一部変更、改訂を重ねたのち、平成17年（2005年）3月に改訂を行い、現在に至っている（行政計画として、平成28年（2016年）3月に改定（一部見直し））。

横須賀港は、北は追浜地区から南は野比地区まで13の地区からなり、主な地区の特色は次のとおりである。

追浜地区は、自動車、造船をはじめとする本市最大の臨海工業団地が形成され、港湾取扱貨物は、主に完成自動車や鋼材などが専用ふ頭で取り扱われている。

長浦地区は、かつて食糧輸入、自動車輸出、捕鯨基地などで賑わっていたが、現在は、主に砂利・砂、廃土砂を取り扱うとともに、防衛機能が集約統合された。

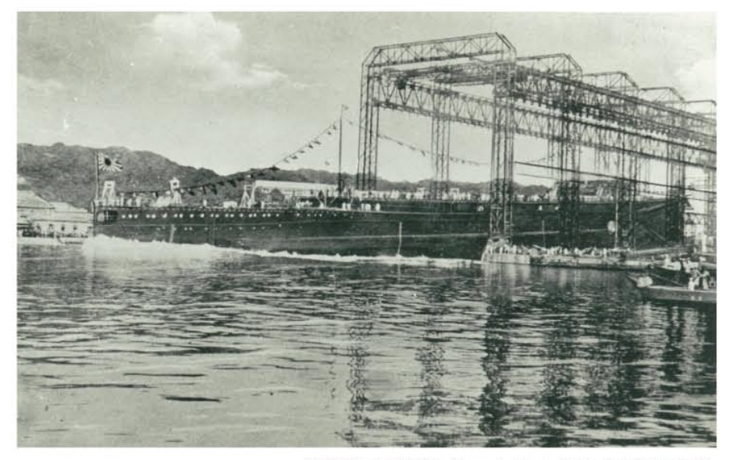
本港地区は、在日米軍基地及び海上自衛隊横須賀地方総監部をはじめとする自衛隊施設が集中している。

新港地区は、ソーラス条約に対応し、完成自動車の輸出や水産品（冷凍マグロ）の輸入・移入が行われている。また、中心市街地に近く、クルーズ客船の寄港の際にも利用されている。平成25年には地場産物総合販売所の「よこすかポートマーケット」がオープンするとともに、裁判所や警察署などの官公署の移転が平成27年（2015年）に完了した。

平成地区は、砂利・砂等の建材を取り扱い、また、背後地には海辺ニュータウンとして、事業所、工業施設のほか、うみかぜ公園などの公園緑地、住宅、商業施設が整備され、総合的なまちづくりが進んでいる。

浦賀地区には、かつて造船所があったが、閉鎖された跡地は海洋性リゾートへの転用が図られるとともに、新たな魅力ある港づくりを目指した再開発計画が検討されている。

久里浜地区は、水産品、建材、廃土砂等、内貿貨物取扱港として利用されている。また、千葉県浜金谷港間のフェリー、ゴールデンウィーク及び夏期を除く時期には伊豆諸島間への旅客船定期航路が就航している。なお、当地区は東京湾口部に位置し、船舶の輻輳する浦賀水道航路を通らずに利用できる地理的優位性がある。



海軍工廠造船台　大正14年（本港地区）

2 自然状況

(1) 位置と地勢

横須賀港は、神奈川県中央部より東南へ突き出した三浦半島の東岸、北緯35度12分～35度19分、東経139度38分～139度45分の東京湾口部にあり、東は東京湾を6海里（11.1km）隔てて房総半島と相対し、北は横浜を経て東京に陸路55km、海路25海里（46.3km）に位置している。海岸線は多数の入江を形成し、水際近くまで水深が深い。背後は高さ50～100m前後の起伏ある丘陵に囲まれ、開口部が狭隘であることから、天然の良港となっている。港内は穏やかで、湾奥は外海に面した相模湾に比べ、台風時にあっても安全な泊地条件に恵まれ、船舶の出入に適している。

(2) 地質

横須賀市の地質は三浦層群、葉山層群、沖積層を基盤として構成され、岩石は泥岩と砂岩でこれに少量の緑色凝灰岩を伴っている。港内の海底下の地質構成は第3紀三浦層群を基盤とし、これを覆う洪積世の成田層群、最上位の沖積層といった層序で示される。横須賀港の海底は、水深10～60m附近に岩盤層があり、その上は粘性土層及び砂層に覆われている。

(3) 風向

風向については、年間を通して北～東北東の風が多く、風速10m/s以上の風も多くなっている。

季節別では、春、秋、冬季は北～北東の風が、夏季は南～南西の風が多くなっている。

(4) 潮流

東京湾の潮流は、潮汐の昇降によって生じ、湾奥部の流れは弱くほとんどが0.5ノット（0.93km/h）以下であるが、湾口に向かうにつれて徐々に速くなり、観音埼と富津岬の中間附近では1.3～1.8ノット（2.41～3.33km/h）に達する。潮流の向きは、一般に湾奥部では上げ潮時が北～北東、下げ潮時が南～南西、湾口部では上げ潮時が北西、下げ潮時が南東となっている。

横須賀港の長浦～平成地区附近の潮流は、季節的変化はあるが微弱でほとんどが0.5ノット（0.93km/h）以下である。平成地区沿岸の潮流は、沖合に比べると海岸や海底地形の影響を受け、流向は海岸線に沿った流れとなっている。

浦賀地区の港内への潮流は、極めて微弱でほとんどが0.3ノット（0.56km/h）以下であり、港口附近の潮流は微弱だが風の影響を受けやすく、概ね上げ潮時は北流し、下げ潮時は南流する。久里浜地区の港内への潮流は、港口の海獺島と外防波堤との中間海面では、上げ潮時は北北東に、下げ潮時は南南西に流れ、流速はそれぞれ約1.5ノット（2.78km/h）、約1.3ノット（2.41km/h）である。

3 横須賀港港湾計画

(1) 計画の方針

1．暮らしの豊かさと安心の向上　2．環境政策の充実と推進　3．物流機能の強化と再編　4．活力ある産業空間の形成
を柱とし、その内容は次のとおりである。

- ○ 港湾における快適な環境の創出を図る親水空間の充実及び地域住民等の交流に寄与する交流空間の形成を図る。
- ○ 地域住民及び観光客等の利便性の向上、横須賀港の魅力向上に資する内航旅客船ふ頭を整備する。
- ○ 東京湾内で貴重となった自然環境や横須賀固有の歴史・文化を保全するとともに、海域環境の再生を図る。
- ○ 港湾背後企業の物流の効率化、輸送コストの削減、環境負荷の低減のため、湾口地区における複合一環輸送機能等の整備による物流機能の充実・強化を図る。
- ○ 大規模地震に対処するため、緊急避難及び緊急物資輸送のための耐震性の高い港湾施設を整備する。
- ○ 効率性、安全性、快適性の高い空間を形成するため、陸域350ha、水域5,500haからなる港湾空間を以下のように利用する。
  - ・長浦地区、新港地区、平成地区、久里浜地区は物流関連ゾーンとする
  - ・新港地区、平成地区、浦賀地区は交流拠点ゾーンとする
  - ・追浜地区は生産ゾーンとする
  - ・久里浜地区発電所周辺はエネルギー関連ゾーンとする
  - ・深浦地区、長浦地区、平成地区、大津地区、馬堀地区、浦賀地区は緑地レクリエーションゾーンとする
  - ・走水地区、鴨居地区、久里浜地区は船だまり関連ゾーンとする
  - ・猿島、走水地区、鴨居地区、久里浜地区、野比地区の海域は自然環境保全ゾーンとする

(2) 取扱貨物量の目標

外貿：　300万トン
内貿：2,210万トン
　（うちフェリー1,220万トン）
合計：2,510万トン

(3) 港湾施設の規模と配置

裏面地図のとおり

馬堀海岸高潮対策護岸（馬堀地区）

公共ふ頭から輸出される完成自動車（新港地区）

4 施設の状況

(1) 港湾区域

本港の港湾法に基づく港湾区域は、横須賀市夏島町地先最北端（北緯35度19分49秒、東経139度38分26秒）の地点、同地点から63度50分2,470mの地点、同地点から46度30分1,450mの地点、観音埼灯台（北緯35度15分22秒、東経139度44分43秒）から90度1,000mの地点及び同地点から海獺島燈標（北緯35度12分43秒、東経139度44分07秒）を見透し7,000mの地点を順次に結んだ線、同地点から290度に引いた線並びに陸岸により囲まれた海面で、その面積は55,250,000㎡であり、海岸線の延長は61,000mである。

(2) 港湾区分

港区	面積(㎡)	港則法による境界	停泊すべき船舶
第1区	1,818,200	吾妻埼から119度に引いた線（以下A線という。）荒三塚ノ鼻から240度に引いた線（以下B線という。）及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、雑種船は、沿岸付近に限る。
第2区	1,410,400	吾妻島北端から331度に引いた線（以下C線という。）B線及び陸岸により囲まれた海面	
第3区	8,925,300	住友重機械横須賀製造所横須賀造船工場艤装岸壁南端から東北防波堤西端まで引いた線、同防波堤、横須賀港東北防波堤東灯台（北緯35度19分09秒東経139度40分31秒）から北緯35度18分32秒東経139度41分58秒の地点まで引いた線、同地点（以下D地点という。）から215度に引いた線（以下E線という。）、A線、C線、及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。
第4区	10,086,900	D地点から0度に引いた線（以下F線という。）第3区境界線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶及び危険物を積載した船舶。
第5区	21,858,400	観音埼灯台から90度に引いた線（以下G線という。）E線、F線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。ただし、沿岸付近に限る。
第6区	4,560,800	千代ヶ埼から70度に引いた線、G線、港界線及び陸岸により囲まれた海面	各種船舶。
第7区	6,590,000	第1区から第6区までを除いた港域内海面	各種船舶及び係留施設に係留する場合における危険物を積載した船舶。ただし、総トン数300トン未満の漁船及び雑種船は、沿岸付近に限る。

(3) 水域施設

a）泊地

〔平成30年(2018年)4月現在〕

種別	地区	名称	面積(㎡)	水深(m)
被覆内	追浜地区(第3区)	夏島泊地	229,100	−12.0
	長浦地区(第2区)	長浦1号泊地	102,900	−5.0
		長浦2号泊地	293,000	−10.0
	本港地区(第1区)	本港1号泊地	217,000	−10.0
	新港地区(第3・5区)	新港泊地	593,700	−10.0
	浦賀地区(第6区)	浦賀2号泊地	20,250	−5.0
		浦賀3号泊地	101,550	−8.5
	久里浜地区(第7区)	久里浜1号泊地	476,200	−9.0
		久里浜2号泊地	40,778	−7.5
		久里浜3号泊地	68,222	−9.0
被覆外	第4区(検疫錨地)	港外泊地	6,136,050	−9.0
	浦賀地区（第6区）	浦賀1号泊地	239,130	−6.5
	久里浜地区（第7区）	久里浜A錨地B錨地	207,300	−35.0
計			8,725,180	

ぱしふぃっくびいなす（久里浜地区）

b）船だまり

〔平成30年(2018年)4月現在〕

地区	名称	面積(㎡)	水深(m)
深浦地区(第2区)	深浦船だまり	114,000	−3.0
長浦地区(第2区)	船越船だまり	45,300	−4.4
	田浦船だまり	44,440	−4.4
	長浦ふ頭船だまり	38,080	−3.0
本港地区(第1区)	吉倉船だまり	38,800	−4.0
	逸見船だまり	104,550	−5.0
平成地区(第5区)	平成船だまり	42,056	−5.0
浦賀地区(第6区)	東浦賀船だまり	32,550	−5.0
	西浦賀1号船だまり	14,950	−2.5
	西浦賀2号船だまり	14,410	−5.0
久里浜地区(第7区)	久里浜北船だまり	20,400	−4.5
計		509,536	

馬堀海岸アートペイント『うみかぜ画廊』（馬堀地区）

(4) 係留施設

a）岸壁、桟橋、浮桟橋（−4.5m以上）

〔平成30年(2018年)4月現在〕

種別	地区	名称	管理者	延長(m)	水深(m)	接岸能力(D/W)	船席
公共	追浜	夏島岸壁	横須賀市	120	-4.5	700	1
	新港	新港1号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1
		新港2号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1
		新港3号岸壁	〃	240	-4.5	700	4
		新港4号岸壁	〃	65	-4.5	700	1
		新港1号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		新港2号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		新港3号桟橋	〃	130	-7.5	5,000	1
	平成	平成1号岸壁	〃	120	-4.5	700	2
		平成2号岸壁	〃	270	-5.5	2,000	3
		平成突堤式桟橋	〃	71	-6.5	—	—
	久里浜	久里浜岸壁	〃	220	-6.5	3,000	2
		久里浜1号岸壁	〃	260	-7.5～-9.0	16,000G/T	1
		久里浜2号岸壁	〃	80	-5.0	1,000	1
		長瀬岸壁	〃	140	-4.5	700	2
		長瀬1号桟橋	〃	26	-6.7	—	—
	計			2,322			22
その他（米軍・防衛省）				4,966			46
専用	追浜	住重横須賀製造所艤装岸壁	住友重機械工業(株)	656	-9.0	300,000 200,000	2
		住重横須賀製造所水切岸壁	〃	60	-6.0	700	1
		海洋研究開発機構桟橋	国立研究開発法人海洋研究開発機構	220	-8.0	8,687G/T	2
		日産1・2号桟橋	日産自動車(株)	435	-12.0	34,000G/T	2
		日産3・4号桟橋	〃	260	-7.5～-10.0	15,000	2
		日産5号桟橋	〃	90	-5.5	2,000	1
		日産6号桟橋	〃	185	-10.0	18,000	1
	長浦	海上保安部5号浮桟橋	第三管区海上保安本部	60	-5.0	—	2
	本港	本港1号浮桟橋	(株)トライアングル	38	-4.8	—	2
	新港	シーボニア浮桟橋	(株)エスパルスドリームフェリー	20	-6.7	—	1
	浦賀	サニーサイドマリーナ岸壁	湘南サニーサイドマリーナ(株)	100	-5.0	1,000	1
		サニーサイドマリーナ中突堤	〃	33	-5.0	700	1
		住重浦賀工場1号ドック岸壁	住友重機械工業(株)	50	-5.0	1,000	1
		住重浦賀工場東岸岸壁	〃	545	-6.5～-9.0	33,000	3
		住重浦賀工場機関艤装岸壁	〃	60	-5.0	2,000	1
	久里浜	東電B岸壁	東京電力フュエル&パワー(株)	100	-5.0	1,000	1
		東電C岸壁	〃	416	-9.0	10,000	2
		東電D岸壁	〃	282	-11.5	10,000	1
		東京湾フェリー(株)1号桟橋	東京湾フェリー(株)	74	-5.5	3,580G/T	1
		東京湾フェリー(株)2号桟橋	〃	71	-5.5	3,580G/T	1
	計			3,755			29

合計延長　11,043 m　船席　97 席

b）物揚場・桟橋・浮桟橋・船揚場（水深−4.5m未満）

〔平成30年(2018年)4月現在〕

施設別		施設数	延長(m)
公共用	物揚場	34	2,494
	桟橋	12	314
	浮桟橋	13	203
	船揚場	13	1,015
	計	72	4,026
専用	物揚場	11	953
	桟橋	15	513
	浮桟橋	32	3,996
	船揚場	5	308
	計	63	5,770
合計		135	9,796

※米軍・防衛省含む、ボートパークを除く

c）係留浮標（公共用）

〔平成30年(2018年)4月現在〕

地区名	名称	最大係船能力（トン）
長浦	N_{10}	800
	N_{12}	800

※ボートパークを除く

d）ボートパーク

〔平成30年(2018年)4月現在〕

地区名	名称	艇長（m）	係留可能隻数
深浦	深浦ボートパーク浮桟橋	～12	99
	深浦ボートパーク係船浮標	—	20
浦賀	浦賀ボートパーク浮桟橋	～10.5	65

※放置艇対策事業としてボートパークを整備
※お問い合わせは直接 Maris&KMBP共同事業体（深浦：046-865-4532、浦賀：046-844-8955）へ

(5) 駐車場

〔平成30年(2018年)4月現在〕

区分	深浦ボートパーク駐車場	浦賀ボートパーク駐車場	うみかぜ公園駐車場		海辺つり公園駐車場
種別	普通自動車	普通自動車	大型自動車	普通自動車	普通自動車
台数	53	12	2	182	95
指定管理者	Maris&KMBP共同事業体 046-865-4532	Maris&KMBP共同事業体 046-844-8955	(株)日産クリエイティブサービス 046-826-2899		(株)日産クリエイティブサービス 046-822-4022

(6) 荷さばき地施設と保管施設

a）荷さばき地

〔平成30年(2018年)4月現在〕

所在地	経営者	面積(㎡)
浦郷	横須賀市	1,902
深浦	〃	591
長浦	〃	5,989
新港	〃	17,372
平成	〃	30,568
西浦賀	〃	2,919
長瀬	〃	17,822
久里浜	〃	16,316
計		93,479

おがさわら丸の入港（久里浜地区）

b）野積場

〔平成30年(2018年)4月現在〕

所在地	経営者	面積(㎡)
新港	横須賀市	44,032
久里浜	〃	28,348
計		72,380

c）上屋及び倉庫

〔平成30年(2018年)4月現在〕

種別		名称	所在地	経営者	棟数	総床面積(㎡)	構造 主要用材	構造 階数
上屋	公共	新港上屋	新港ふ頭	横須賀市	1	2,312	鉄骨鉄筋コンクリート	一部2階
	専用			民間	1	280		
倉庫	専用			民間	26	71,727		

(7) 給水施設（公共用）

〔平成30年(2018年)4月現在〕

種類	給水場所	経営者	数量	備考
水栓	長浦1号物揚場	横須賀市	1栓	口径65ミリ
〃	新港1号桟橋	〃	3栓	〃
〃	新港2号桟橋	〃	2栓	〃
〃	新港3号桟橋	〃	3栓	〃
〃	新港1号岸壁	〃	4栓	〃
〃	新港2号岸壁	〃	4栓	〃
〃	新港3号岸壁	〃	2栓	〃
〃	新港4号岸壁	〃	1栓	〃
〃	平成2号岸壁	〃	3栓	〃
〃	浦賀物揚場	〃	2栓	〃
〃	久里浜岸壁	〃	4栓	〃
〃	久里浜1号岸壁	〃	1栓	〃
〃	久里浜2号岸壁	〃	1栓	〃

バーベキューで賑わう休日のうみかぜ公園（平成地区）

(8) 港湾環境整備施設（公共用）

〔平成30年(2018年)4月現在〕

海浜 名称	海浜 延長(m)	緑地 名称	緑地 面積(㎡)	その他 名称	その他 面積(㎡)
走水海浜	965	浦郷みなと緑地	2,715	走水観音崎遊歩道	1,740
観音崎海浜	190	新港地区緑地	8,512		
たたら浜	210	うみかぜ公園	52,506		
		平成地区緑地	12,433		
		海辺つり公園	23,148		
		西浦賀みなと緑地	6,298		
		久里浜みなと緑地	2,789		

(9) 港湾関係官公署

〔平成30年(2018年)4月現在〕

名称	所在	電話番号
東京入国管理局横浜支局	横浜市金沢区鳥浜町10-7	045-769-1720
横浜税関横須賀税関支署	横須賀市田浦港町無番地	046-861-1281
横浜検疫所横須賀・三崎出張所	〃　田浦港町無番地	045-201-4456 （横浜検疫所検疫衛生課）
横浜植物防疫所（業務部本船貨物担当）	横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎内	045-211-7152
東京湾海上交通センター	〃	045-225-9118
横須賀海上保安部	〃　田浦港町無番地	861-8366
関東地方整備局東京湾口航路事務所	〃　新港町13	828-8366
国土交通省国土技術政策総合研究所	〃　長瀬3-1-1	844-5006
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所	〃　長瀬3-1-1	844-5010

(10) 港湾関係諸団体

〔平成30年(2018年)4月現在〕

名称	所在	電話番号
(公財)海上保安協会横須賀支部	横須賀市田浦港町無番地	046-861-8366
港湾労災防止協会神奈川横須賀支部	〃　新港町13	826-3363
(一財)横須賀港湾福利厚生協会	〃　新港町13	826-3363
関東海事広報協会横須賀支部	〃　新港町13	826-3363
(一財)海上災害防止センター防災訓練所 研修所	〃　新港町13	826-3660
横須賀運輸港湾振興会	〃　新港町13	826-3363
横須賀港運会	〃　新港町13	826-3363
横須賀港運協会	〃　新港町13	826-3363
横須賀港湾物流協同組合	〃　新港町13	826-3363
横須賀市東部漁業協同組合	〃　平成町3-4	822-1052
神奈川県トラック協会県南ブロック横須賀三浦地区	〃　森崎1-16-11	834-6685

(11) 港湾関係事業者

港湾運送事業法第4条における港湾運送事業者

〔平成30年(2018年)4月現在〕

事業者名	一般港湾運送事業 無限定	一般港湾運送事業 限定	港湾荷役事業 無限定	港湾荷役事業 限定	港湾荷役事業 船内限定 無限定	港湾荷役事業 船内限定 限定	港湾荷役事業 沿岸限定 無限定	港湾荷役事業 沿岸限定 限定	電話番号
相模運輸倉庫(株)	○				○		○		046-861-3111
相模船舶作業(株)			○						860-1550
昌栄産業(株)				○					835-3300
横荷企業(株)							○		861-4886
(株)バンテック		○							865-5998
住重横須賀工業(株)								○	869-1707
山九(株)横浜支店					○		○		045-662-6239
日本通運(株)藤沢支店							○		0467-43-0102

港湾労働者福祉センター

〔平成30年(2018年)4月現在〕

名称	所在	電話番号
横須賀新港港湾労働者福祉センター	横須賀市新港町13	046-826-3363

家族連れでも楽しめる海辺つり公園（平成地区）

5 利用状況

(1) 入港船舶年次表（最近5年間）

年次	合計 隻数	合計 総トン数	外航 隻数	外航 総トン数	内航 隻数	内航 総トン数
平成24年	16,942	32,204,117	240	5,568,503	16,702	26,635,614
平成25年	16,136	31,622,636	200	4,371,447	15,936	27,251,189
平成26年	15,815	30,153,497	173	3,572,666	15,642	26,580,831
平成27年	15,327	28,109,013	160	3,315,279	15,167	24,793,734
平成28年	15,424	29,563,941	178	4,107,830	15,246	25,456,111

(2) 海上出入貨物年次表（最近5年間）

（単位：トン）

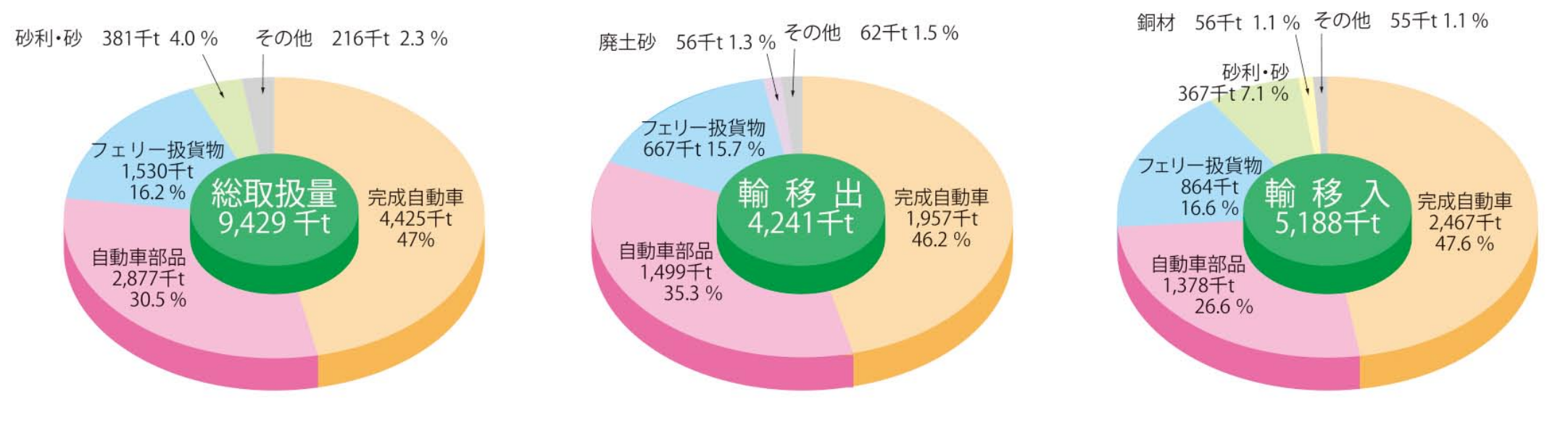
年次	合計 計	合計 輸移出	合計 輸移入	外国貿易 計	外国貿易 輸出	外国貿易 輸入	内国貿易 計	内国貿易 移出	内国貿易 移入
平成24年	12,294,098	5,342,154	6,951,944	1,657,078	1,240,331	416,747	10,637,020	4,101,823	6,535,197
平成25年	11,188,866	4,444,230	6,744,636	1,280,155	961,126	319,029	9,908,711	3,483,104	6,425,607
平成26年	9,902,387	3,982,389	5,919,998	1,038,115	869,183	168,932	8,864,272	3,113,206	5,751,066
平成27年	9,534,332	3,982,259	5,552,073	1,060,372	878,979	181,393	8,473,960	3,103,280	5,370,680
平成28年	9,428,860	4,240,964	5,187,896	1,011,116	790,599	220,517	8,417,744	3,450,365	4,967,379

(3) 海上出入貨物地区別取扱表（平成28年）

（単位：トン）

地区名	合計 計	合計 輸移出	合計 輸移入	外国貿易 計	外国貿易 輸出	外国貿易 輸入	内国貿易 計	内国貿易 移出	内国貿易 移入
計	9,428,860	4,240,964	5,187,896	1,011,116	790,599	220,517	8,417,744	3,450,365	4,967,379
追浜地区	6,738,308	2,833,919	3,904,389	377,499	168,489	209,010	6,360,809	2,665,430	3,695,379
長浦地区	130,880	28,575	102,305	-	-	-	130,880	28,575	102,305
新港地区	652,946	638,477	14,469	633,617	622,110	11,507	19,329	16,367	2,962
平成地区	129,783	2,169	127,614	-	-	-	129,783	2,169	127,614
久里浜地区	1,776,943	737,824	1,039,119	-	-	-	1,776,943	737,824	1,039,119

主要品目別出入貨物の構成



※貨物量は小数第一位、パーセンテージは小数第二位で四捨五入しています

(4) 船舶乗降人員（平成28年）

（単位：人）

計	乗込	上陸
872,455	397,937	474,518

全国有数の冷凍マグロ取扱港湾（新港地区）

専用ふ頭から船積されている完成自動車（追浜地区）
（日産自動車㈱提供）

6 港湾施設使用料

〔平成30年(2018年)4月現在〕

施設名	使用料金				
岸壁・桟橋・物揚場	定期船		船舶の総トン数1トンごと　係留24時間までごとに		5円
	定期船以外の船舶		船舶の総トン数1トンごと　係留24時間までごとに		11円
係船浮標	総トン数 1,000トン未満の船舶		係留24時間までごとに		4,830円
	総トン数 1,000トン以上 3,000トン未満の船舶		係留24時間までごとに		9,670円
上屋	新港	専用使用	1㎡までごとに	1月	770円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで　1㎡または1トンまでごとに	1日	17円
			貨物搬入の日から16日以後　1㎡または1トンまでごとに	1日	34円
荷さばき地	長浦港、浦賀港及び久里浜港（久里浜1号・長瀬）	専用使用	1㎡までごとに	1月	103円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで　1㎡までごとに	1日	4円
			貨物搬入の日から16日以後　1㎡までごとに	1日	7円
	新港、平成港及び久里浜港（久里浜2号・3号）	専用使用	1㎡までごとに	1月	167円
		一般使用	貨物搬入の日から15日まで　1㎡までごとに	1日	6円
			貨物搬入の日から16日以後　1㎡までごとに	1日	9円
野積場	専用使用		1㎡までごとに	1月	167円
	一般使用		貨物搬入の日から15日まで　1㎡までごとに	1日	6円
			貨物搬入の日から16日以後　1㎡までごとに	1日	9円
船舶給水	5㎥まで				3,800円
	5㎥を超える1㎥までごとに				760円
	ただし、執務時間外に船舶給水を行う場合は、その料金の額に5割を加算する。				
船舶給電	1キロワット1時間までごとに				81円

※港湾施設のご利用については、「横須賀港ふ頭管理事務所」〒238-0005 横須賀市新港町13番地 ☎046-874-9017へ
（船舶係留・船舶給水は☎046-823-2694へ）

7 港湾管理者以外の者の料金

(1) 定期船運賃

a）東京湾フェリー(株)
〒239-0831 横須賀市久里浜8-17-20
☎046-835-8855

久里浜～浜金谷港　自動車等航送運賃（運転手1名の運賃を含む）

車長		片道	往復
3.0m	未満	2,360円	4,250円
4.0m	〃	3,120円	5,580円
5.0m	〃	3,990円	7,100円
6.0m	〃	5,070円	9,130円
7.0m	〃	6,260円	11,270円
8.0m	〃	7,450円	13,400円
9.0m	〃	8,640円	15,550円
10.0m	〃	9,720円	17,500円
11.0m	〃	10,800円	19,400円
12.0m	〃	11,880円	21,400円
1m	増すごと	1,080円	1,940円
オートバイ	750cc以上	2,310円	4,340円
	750cc未満	1,940円	3,630円
原付自転車	（125cc未満）	1,590円	2,970円
自転車	大人	1,210円	2,180円
	小人	850円	1,520円

旅客運賃

区分	片道	往復
大人	720円	1,320円
小人	360円	660円

〔平成30年(2018年)4月現在〕

浜金谷港へ向かう東京湾フェリー（久里浜地区）

b）(株)トライアングル三笠営業所
〒238-0004 横須賀市小川町28-1
横須賀ハイム201
☎046-825-7144

猿島航路（三笠～猿島）旅客運賃

区分	往復
大人	1,300円
小学生	650円

別途、猿島公園入園料（大人200円、小中学生100円）が必要です
〔平成30年(2018年)4月現在〕

YOKOSUKA軍港めぐり　旅客運賃

区分	乗船料
大人	1,400円
小学生	700円

〔平成30年(2018年)4月現在〕

艦船を間近で観ることができる『YOKOSUKA軍港めぐり』（本港地区）

c）東海汽船(株)
〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1
ニューピア竹芝
サウスタワー5F
☎03-5472-9999

ジェット船／片道旅客運賃

区分	運賃
久里浜～東京	4,130円
久里浜～大島	4,810円
久里浜～利島	6,610円
久里浜～新島	6,810円
久里浜～式根島	6,810円
久里浜～神津島	7,750円

※平成30年（2018年）4月乗船分の大人の場合で、こども（小学生）は半額
運賃には、燃料油価格変動調整金を含み、月により変動
※運航ダイヤと料金の詳細は、直接上記へ

久里浜地区と伊豆諸島を結ぶ高速ジェット船
※写真はセブンアイランド大漁（東海汽船㈱提供）

(2) タグボート

東京汽船(株)横須賀支店
〒238-0004 横須賀市小川町27－17
☎046-826-3911

隻数	定格馬力	1時間当たり料金（8:00～17:00） 基本料金	特別割引料金 15,000G/T未満	特別割引料金 5,000G/T未満
11	3,100～4,400	101,700円	67,700円	63,500円

※料金の詳細は、直接上記へ　〔平成30年(2018年)4月現在〕

(3) 水先料金

東京湾水先区水先人会　本部
〒231-0023 横浜市中区山下町1-2
パイロットビル
☎045-650-3180

区分	総トン数1万トン以上の基本額	総トン数1万トン未満の基本額	加算額
横須賀港への入港又は同港からの出港	64,724円	27,235円	1,070円
横須賀港内における転びょう	64,724円	27,235円	1,070円

※料金の詳細は、直接上記へ　〔平成30年(2018年)4月現在〕

8 横須賀市港湾部組織図

港湾管理者 横須賀市
港湾部
- 港湾総務課（港湾施設の管理）☎046-822-8435 pg-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp
  - 〃 横須賀港ふ頭管理事務所（港湾施設の使用許可）☎046-874-9017（横須賀市新港町13番地）
- 港湾企画課（港湾の計画・振興・統計）☎046-822-8439 pp-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp
- 港湾建設課（港湾工事の設計・施工）☎046-822-8441 pc-ph@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀市港湾部
〒238-8550
横須賀市小川町11番地
☎ 046-822-4000（代表）
FAX 046-826-3210
URL http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/6610/minato/

この便覧は、紙・板紙へのリサイクルが出来ない材料〔Cランク〕を用いて作製しています。平成30年(2018年)4月現在
1,200部